

令和5年度 桐生厚生総合病院新改革プラン継続計画点検・評価書

プラン対象期間：令和3年度から令和5年度

令和7年3月

評価基準表

評価		
A	計画を上回った	達成率100%以上の実績となった。
B	概ね計画どおり	達成率90%以上100%未満の実績となった。
C	計画を下回った	達成率80%以上90%未満の実績となった。
D	計画を大幅に下回った	達成率80%未満の実績となった。

新公立病院改革プラン継続計画実績概要(令和5年度)

■ 医療機能等指標に係る数値

1) 医療機能・医療品質に係るもの	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度				自己評価
	実績	実績	実績	実績	計画	実績	比較 (実績-計画)	達成率	
救急患者数(人)	10,116	8,548	7,967	7,126	9,072	7,095	△ 1,977.0	78.2%	D
手術件数(件)	2,307	2,198	2,366	2,178	2,402	2,287	△ 115.0	95.2%	B
紹介率(%)	73.9	75.6	74.5	69.4	79.0	69.1	△ 9.9	87.5%	C
逆紹介率(%)	83.5	77.2	75.2	69.0	81.0	73.0	△ 8.0	90.1%	B
2) その他	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度				自己評価
	実績	実績	実績	実績	計画	実績	比較 (実績-計画)	達成率	
患者満足度(%)	89.7	98.4	98.5	98.7	86.0	97.1	11.1	112.9%	A

<点検・評価>

- ・ 救急患者数
新型コロナウイルス感染症の影響、時間外診療費特別料金の改定による増額、地域の人口減少や救急科医師の年度途中の退職もあり、前年度比31人減少、計画より1,977人減少。
 - ・ 手術件数
前年度比では109人増加したが、患者数減少の影響もあり、計画より115人減少。
 - ・ 紹介率
 - ・ 逆紹介率
 - ・ 患者満足度
- 新型コロナウイルス感染症による受診控えの影響で計画より減少したが、地域医療支援病院として必要な紹介率・逆紹介率は維持。
- 令和2年度より統計内容を再検討し変更した。前年度比は減少したが、計画より11.1%増加。

■ 経営指標に係る数値

1) 収支改善に係るもの	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度				自己評価
	実績	実績	実績	実績	計画	実績	比較 (実績-計画)	達成率	
経常収支比率 (%)	94.7	107.8	108.1	109.7	100.1	98.8	△ 1.3	98.7%	B
医業収支比率 (%)	86.9	88.5	92.1	94.7	94.6	91.5	△ 3.1	96.7%	B

<点検・評価>

- ・ 経常収支比率 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、計画より1.3%減少。
- ・ 医業収支比率 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、医業収益減少により計画比3.1%減少。

2

2) 経費削減に係るもの	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度				自己評価
	実績	実績	実績	実績	計画	実績	比較 (実績-計画)	達成率	
材料費対医業収益比率 (%)	22.5	22.8	24.1	23.9	22.5	25.1	2.6	89.6%	C
薬品費対医業収益比率 (%)	13.5	13.8	15.0	15.3	14.4	16.2	1.8	88.9%	C
人件費対医業収益比率 (%)	64.1	63.6	58.9	58.4	59.7	59.7	0.0	100.0%	A

<点検・評価>

- ・ 材料費対医業収益比率 食材価格高騰により、計画値を上回った。
- ・ 薬品費対医業収益比率 肝炎薬やコロナ治療薬にかかる費用等が想定以上だったことにより、計画値を上回った。
- ・ 人件費対医業収益比率 職員数の適正化に取り組み、計画を達成。

3) 収入確保に係るもの	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度				自己評価
	実績	実績	実績	実績	計画	実績	比較 (実績-計画)	達成率	
1日平均入院患者数(人)	295	290	291	290	315	291	△ 24.0	92.4%	B
1日平均外来患者数(人)	672	637	672	663	670	609	△ 61.0	90.9%	B
病床利用率(%)	62.6	66.9	67.2	67.0	72.7	68.0	△ 4.7	93.5%	B

<点検・評価>

- ・1日平均入院患者数 コロナ5類移行後も度重なるクラスター発生に伴う病棟クローズの影響もあり、前年実績とほぼ同等だが、計画に対しては24人減少の結果となった。
- ・1日平均外来患者数 新型コロナウイルス感染症の影響で受診控えが続いた。選定療養費の改定や地域人口の減少もあり、前年度比54人減少。計画からも61人減少。
- ・病床利用率 達成率93.5%で概ね計画どおり。引き続きベッドコントロール等を行い効率化を図る。
(病床数：令和2年度から433床、令和5年9月から424床)

3

4) 経営の安定性に係るもの	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度				自己評価
	実績	実績	実績	実績	計画	実績	比較 (実績-計画)	達成率	
常勤医師数(人)	60	64	61	62	64	62	△ 2	96.9%	B
臨床研修医数(人)	5	4	9	13	12	14	2	116.7%	A
100床当たり職員数(人)	132	144	138	133	132	133	1	99.2%	B
現預金保有残高(千円)	925,712	1,308,430	3,297,775	5,542,174	3,746,701	5,700,115	1,953,414	152.1%	A

<点検・評価>

- ・常勤医師数 計画より2人減少、今後も常勤医師確保を継続。
- ・臨床研修医数 前年度比1人増加で計画を2人上回った。
- ・100床当たり職員数 職員数の適正化への取り組みにより、前年度同数となった。
- ・現金保有残高 令和4年度の群馬県市町村総合事務組合脱退に伴う還付金等により計画を上回った。

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (計画)	5年度 (実績)
収	1. 医業収益 a		8,675	8,942	9,314	9,315	9,387	9,059
	(1) 料 金 収 入		8,234	8,499	8,868	8,864	8,930	8,608
	(2) そ の 他		441	443	446	451	457	451
	うち他会計負担金		190	193	190	195	190	196
	2. 医業外収益		1,084	2,358	2,115	1,904	1,060	1,111
	(1) 他会計負担金・補助金		596	602	616	628	590	544
	(2) 国(県)補助金		139	1,458	1,222	997	139	220
	(3) 長期前受金戻入		291	252	234	242	285	310
	(4) そ の 他		58	46	43	37	46	37
	経常収益(A)		9,759	11,300	11,429	11,219	10,447	10,170
支	1. 医業費用 b		9,978	10,108	10,118	9,838	9,924	9,900
	(1) 職員給与と費 c		5,562	5,687	5,481	5,443	5,608	5,407
	(2) 材 料 費		1,956	2,043	2,243	2,228	2,110	2,277
	(3) 経 費		1,849	1,852	1,866	1,554	1,443	1,616
	(4) 減価償却費		581	493	458	586	713	568
	(5) そ の 他		30	33	70	27	50	32
	2. 医業外費用		328	371	458	388	513	392
	(1) 支払利息		9	1	1	1	5	1
	(2) そ の 他		319	370	457	387	508	391
	経常費用(B)		10,306	10,479	10,576	10,226	10,436	10,292
経常損益(A)-(B)(C)		▲ 547	821	853	993	11	▲ 122	
特別損益	1. 特別利益(D)		783	228	44	2,179	0	68
	2. 特別損失(E)		0	191	0	2,904	0	0
	特別損益(D)-(E)(F)		783	37	44	▲ 725	0	68
純 損 益 (C)+(F)		236	858	897	268	11	▲ 54	
累 積 欠 損 金 (G)		3,830	2,972	2,075	1,807	1,450	1,861	
不 良 債 務	流動資産(ア)		2,420	3,507	5,286	7,661	5,344	7,334
	流動負債(イ)		1,611	1,775	2,482	1,872	1,700	1,738
	うち一時借入金							
	翌年度繰越財源(ウ)							
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額(エ)							
不良債務 差引{(イ)-(エ)}-{(ア)-(ウ)}(オ)		▲ 809	▲ 1,732	▲ 2,804	▲ 5,789	▲ 3,644	▲ 5,596	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$		94.7	107.8	108.1	109.7	100.1	98.8	
不良債務比率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$		▲ 9.3	▲ 19.4	▲ 30.1	▲ 62.1	▲ 38.8	▲ 61.8	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$		86.9	88.5	92.1	94.7	94.6	91.5	
職員給与と費対医業収益比率 $\frac{c}{a} \times 100$		64.1	63.6	58.8	58.4	59.7	59.7	
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額(H)		▲ 809	▲ 1,732	▲ 2,804	▲ 5,789	▲ 3,644	▲ 5,596	
資金不足比率 $\frac{(H)}{a} \times 100$		▲ 9.3	▲ 19.4	▲ 30.1	▲ 62.1	▲ 38.8	▲ 61.8	
病 床 利 用 率		62.6	66.9	67.2	67.0	72.7	68.0	

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (計画)	5年度 (実績)
収 入	1. 企 業 債	208	189	1,063	143	200	223
	2. 他 会 計 出 資 金						
	3. 他 会 計 負 担 金	446	215	219	212	310	293
	4. 他 会 計 借 入 金						
	5. 他 会 計 補 助 金						
	6. 国 (県) 補 助 金	5	94	59	61		9
	7. そ の 他	3	5				
	収 入 計 (a)	662	503	1,341	416	510	525
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)						
	前年度許可債で当年度借入分 (c)						
純計(a)-(b)+(c) (A)	662	503	1,341	416	510	525	
支 出	1. 建 設 改 良 費	240	301	1,026	241	230	238
	2. 企 業 債 償 還 金	781	384	382	370	457	532
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金						
	4. そ の 他						
支 出 計 (B)	1,021	685	1,408	611	687	770	
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	359	182	67	195	177	245	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	356	181	67	195	177	245
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額						
	3. 繰 越 工 事 資 金						
	4. そ の 他	3	1				
計 (D)	359	182	67	195	177	245	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)							
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (計画)	5年度 (実績)
収 益 的 収 支	(0) 786	(0) 795	(0) 806	(0) 823	(0) 780	(0) 740
資 本 的 収 支	(0) 446	(0) 215	(0) 219	(0) 212	(0) 310	(0) 293
合 計	(0) 1,232	(0) 1,010	(0) 1,025	(0) 1,035	(0) 1,090	(0) 1,033

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。